和教時報

2023年11月15日（水）発行　第2003号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

仲間をさそってみんなで日高に!!
未来をひらく教育のつどいin日高

いよいよ、未来をひらく教育のつどいin日高が迫ってまいりました。
完全対面での開催は実に四年ぶりです。
開催地である日高ではこれまでに現地実行委員会を開催し、多くの人が集い、教育を語ることができるように準備しています。

一二月一日（金）一八時から御坊市民文化会館での全体会では絵本作家の長谷川義史氏を講師に招き「へいわってすてきだね」という演題での講演を行います。ウクライナやガザの痛ましい状況が日々報道される中で、私たちがすべきことについて考える機会になると思いますし、また「へいわ」とはということについても問い直す機会になると思います。

絵本作家　長谷川義史氏

日高高校　箏曲部

また文化行事として日高高校箏曲部の演奏もありますので楽しみにしてください。

二日目の一二月二日（土）は九時受付、九時三〇分より開始、場所を紀央館高校に移して、一八の分科会を行います。教職員・保護者・各団体から現段階で四六本の報告があります。また研究者からのミニ講演などがある分科会もあります。子どもたちの姿、学校の様子などを話し合うことでいくつもの新しい発見や気づきが生まれます。多くの方が参加して、とっても楽しい教育のつどいにしましょう。

なかまを誘って、日高に集合しましょう!!!

会計年度任用職員の待遇改善を求める署名提出
（2023第２回確定交渉より）

ピンのスポット 415

今年の夏は非常に暑く、その暑さは九月と一〇月にも猛威をふるった。一〇月下旬くらいから涼しくなってきたのだが、一一月に入って和歌山でも夏日が四日連続で続いた。

また線状降水帯などによる豪雨も毎年のように起こり、和歌山でも今年六月二日に海南市などを中心に床上浸水などの大きな被害が起きた。このような状況は突発的な異常気象というより年々ひどくなってきているように思う。

世界的には脱炭素や脱原発ということがすすめられているのに、日本ではいまだに火力発電所や原子力発電所が主力になり発電が続けられている。また再生可能エネルギーと言いながら金儲けのために、森林伐採での山間部への太陽光発電なども進められている。早いうちに自然環境を守る政策に転換していかないと手遅れになるのではと思う。

（N）

障害児学校部

職場活動交流合宿
久しぶりに集まった！

和教組　障害児学校部長　山口　法之

この間のコロナ禍で「集会」として一日開催にしていましたが、四年ぶりに「合宿」としてむろべで開催し、二〇名の参加がありました。

今回はそれぞれの職場の現状と課題を出し合うところからスタート。コロナが五類になり、学校で変わったこと、変わらないこと、変だなと思っていることなどたくさんの発言がありました。「リモート会議が減った」ところが多数でしたが、「相変わらず職朝もなく、職員会議も各教室から参加している」「リモートの方が時間を有効に使える、ながら仕事もできるからリモートに戻してほしい」などの意見もありました。

また修学旅行も県外や東京方面に行き始めたところも多いようですが、県内に留めている学校もありました。

このほかには「校内の動線やスクールバスを知的と肢体で分けていたが、そろそろ以前の状態に戻そうとしている」「学校行事の在り方を検討している」などの報告もありました。

どの発言も子ども目線で学校を見ていて「この方が子どもたちにとっていいのに」「子どもたちが喜ぶにはどうしたらいいだろう」という思いが感じられ、あっという間に時間がなくなっていました。

第32回全国女性教職員学習交流集会in京都
「子どもとともに未来へ生きる」に参加して

那賀支部　中貴志小分会　木下　敦美

全国女性教職員学習会が、今年は対面で開催されました。基礎講座は、「豊かな青年期と自立への道を拓く特別支援教育」谷口藤雄さんの話を聞きました。

「授援力（じゅえんりょく）一人で何もかもできることが自立ではない。他人の力をうまく借りながら生活できることが自立」「時間はかかるが、自尊感情の育成に力を入れる。私は、・・したい、と言える力が大事」三八年間の高校教員、退職後は特別支援・進路支援教員として心がけていることを聞き、私は小学校教員ですが、大事なことは一緒だと納得しました。

「支援を必要としている生徒の就労先を探すのに大事なのは、『face to face give&take』顔を見て話をすることが大事。中ポツ、サポステ、ハローワーク、中小企業家同友会、商工会議所、保健所、みんな力になってくれますよ。」と実践例を聞きました。「Wカウント」「障害者手帳」「就労体験」の話も聞きました。「困っていることに支援をする！何とかなる！」と走り回っている話から、パワーをもらいました。

現地に行くのは時間がかかるけれど、行って良かった交流集会！学びがいっぱい、パワーいっぱいの二日間となりました。

第56回 教育要求県民集会

県教委は保護者の思いを受けとめよ!!

和教組　副執行委員長　野口　共

教育要求県民集会は、一九七一年から行われている保護者等が教育要求を直接教育委員会幹部に訴え、高校の学級増設や障害児学校建設、父母負担軽減などさまざまな成果をあげてきた集会です。

今年も切実な教育要求が一〇名の方から語られました。

障害児教育に関わることでは、児童生徒数が定員を超える中、スクールバスでの長時間にわたる通学の問題や、紀北支援学校で長年にわたる改築工事の中でプールがない問題など大変な状況に置かれている障害を持つ子どもたちの実態が語られました。その中で「障害のある子が当たり前の教育を受けられていないことが当たり前になっていることが怖い」と語られたことが一番印象に残りました。

また不登校の子を持つ親の発言や物価高に苦しんでいる子ども食堂へ通う子どもの保護者やバイトづけで大変な思いをしている学生の声、様々な方々から県教委に対して向けられた声を私たちも重く受けとめ、地域・保護者の皆様とともに引き続き運動をすすめていきたいと思います。

「国籍ではなく、人をみてほしい」

外国籍教員の任用問題で記者発表

同じ採用試験に合格しながら、国籍の違いを理由に職名が「教諭」でなく「講師」とされる、経験を積んでも学年主任など「主任」になれない…そんなことがあっていいのでしょうか。

和教組は、この問題に取り組み、今年度は県教委あての署名を集めています。先日、このことについて本部役員と海草支部のルーク・ザレブスキー支部長（オーストラリア国籍）が記者発表を行いました。

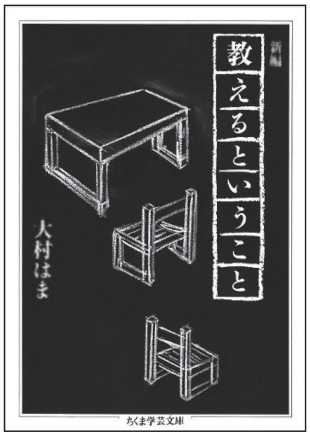
報道機関は五社で、熱心にメモを取りながら説明を聞いてくれました。ルークさんはフラッシュを浴びながら、「主任になりたいわけではないが、国籍によってなれないのはおかしい。そこではなく、その人自身を見てほしい」と思いを伝えました。また、ルークさんは「校長が考える校内人事が、自分の国籍のせいでできなかったことに申し訳なく思うこともあった」「主任といっても（国家の意思決定に関わるような）権力がある訳でもない」など、質問に答えました。

複数の新聞に掲載され、どれも問題がよくわかる記事でした。署名は今、他の労働組合などが取り組んでくれています。もしまだ取り組んでいない職場がありましたら、年内に提出したいと考えていますのでご協力をお願いします。署名用紙は和教組ホームページからダウンロードできます。

ぜひ あなたにも 読んでいただきたい この一冊

15 「教えるということ」

日高支部　湯川小分会　**楠本　智史**



私がこの本に出会ったのは大学三回生の時、教職のゼミで担当の教授に勧められたのがきっかけでした。著者は大村はま先生。国語教育の専門家として、そして女性として長らく日本の教育を支えられてきた方です。

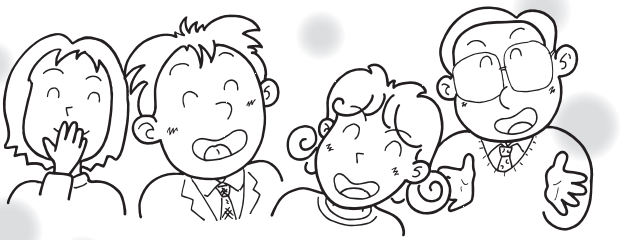
この本は教科の枠組みをこえて、教師としての歩みや生き方について考えさせてくれるものです。大村先生は退職されるまでずっと「教室に魅力を」という願いをもち続けていました。

「できる・できない」「よい・わるい」「勝った・負けた」などに振り回され、教師も子どもも疲れ切っている中で、教室にそのような隔てのない「何とない魅力」や「何となくひきつけられる、引き寄せられるもののあるように」という魅力があってほしいという願いです。

社会や大人が求める能力値よりも、子ども達自身が「教室に魅力」を感じ、もっと深く学びたい・もっと知りたいと思える場所を保障するのが教師としての大きな仕事であると改めて感じます。

この本の内容としては、教師を志す立場の人や初任の方へのメッセージが強く表されています。しかし、教師として「教える」ということの本質、教師として「生きていく」ことの本質を思い出させてくれるものです。だからこそ初任の方や若い方にはもちろん、一定の教職経験をされてきた方、担任業から離れ管理職としての立場の方にもお勧めしたい本です。ぜひご一読ください。

安心と信頼
教職員のための
『教弘保険』



（公財）日本教育公務員弘済会　和歌山支部
提携保険会社：ジブラルタ生命保険株式会社
■和歌山第一営業所　073-421-8250
■和歌山第二営業所　073-421-8250
■和歌山第三営業所　073-421-8250
■橋本営業所　0736-33-1620
■田辺営業所　0739-22-5751
■新宮営業所　0735-22-0101

人事定数交渉日程告知

人事定数にかかる県教委との交渉を下記の日程で行います。

県立学校

日時　**11**月**24**日(金)
14時半　打ち合わせ
15時　交渉

場所　県教育会館　４階大会議室

小中学校

日時　**11**月**30**日(木)
14時　打ち合わせ
15時　交渉

場所　県教育会館　４階大会議室